

## 自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名)三菱電機株 高周波光デバイス製作所

### 1 環境保全活動に関する方針等

#### 1 - 1 環境保全活動に関する方針

高周波光デバイス製作所は半導体デバイスの開発・製造機能を有し、電気エネルギー、化学物質等を大量に使用しており環境に及ぼす影響は極めて大きい。

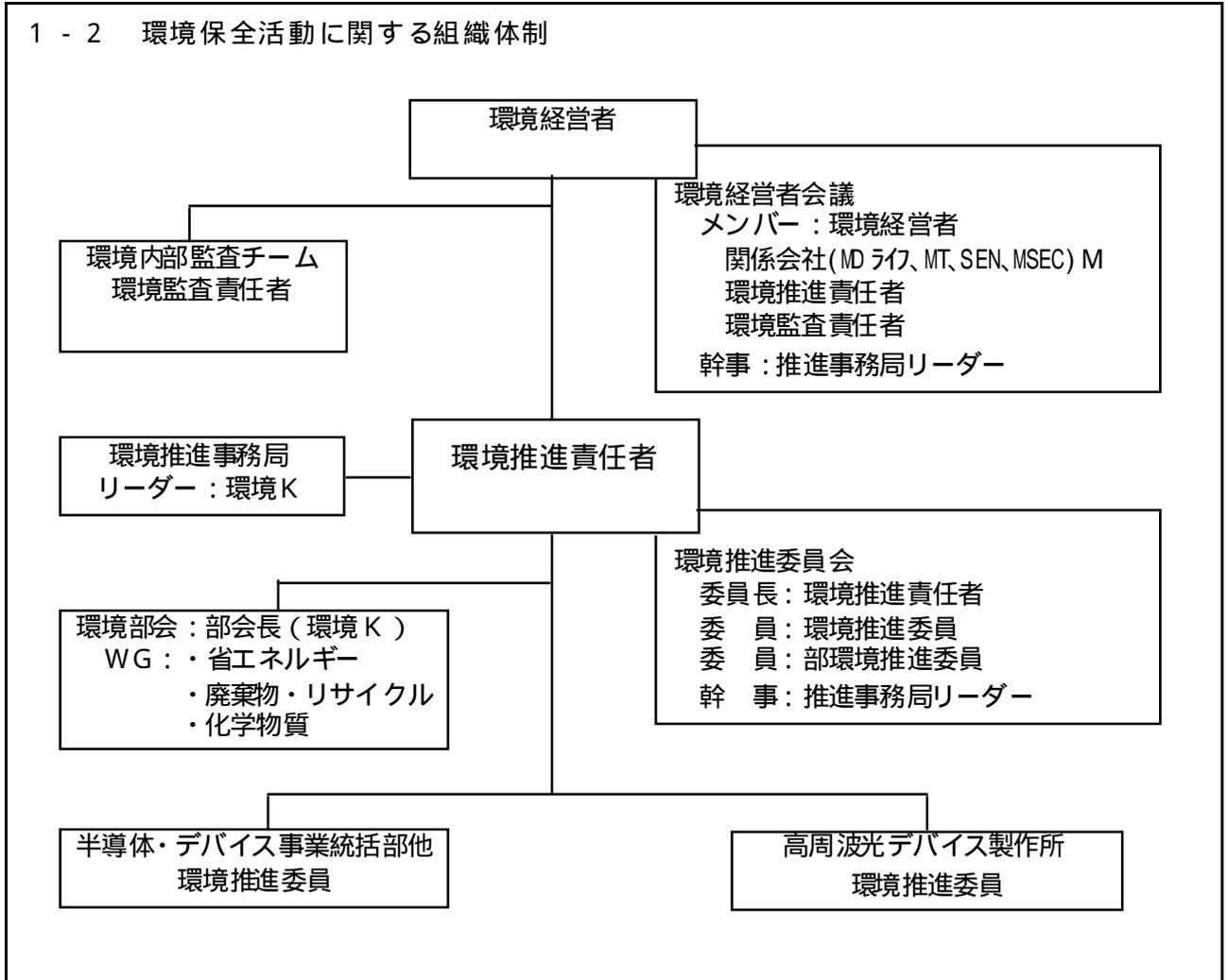
当所は地球環境と地域社会に調和した事業活動を推進するために、環境方針を以下の通り定め、事業経営との共生を図りながら当所の事業活動、製品及びサービスの全てに適用し、持続可能な発展を目指す循環型システムの追求に取り組むと共に、継続的な向上及び環境汚染等の予防を図る。「三菱電機グループ第6次環境計画」に沿って目的・目標を明確にし、環境管理活動を推進する。

#### 【重点項目】

1. 環境重点管理テーマとして以下の事項に取り組む。
  - (1) 生産時CO2 排出量削減推進 (560 t-CO2 削減 : 第6次環境計画 09~11 年度で2,200 t-CO2 削減)
  - (2) ゼロエミッション (直接埋立ゼロ) の維持継続と環境負荷低減及び費用改善
  - (3) 環境マインド育成を基にした化学物質使用量の削減、ならびに遵法対応処置
  - (4) 環境配慮設計(DFE)の推進 [ DFE: Design For Environment ]
  - (5) 環境負荷低減の推進
2. 環境関係法、条例及び高周波光デバイス製作所が受け入れた協定等の要求事項を遵守する。
3. 風致地区にある当所周辺の自然環境を大切にすると共に、関係官庁、地域住民、取引先と積極的にコミュニケーションを図り、生物多様性の保持に努める。
4. 当所外の波光电関係会社の環境管理についても、環境監査等を通じて管理活動を支援する。
5. 当所内関係会社を含む全従業員に環境方針を周知させると共に、環境教育・広報活動等により、家族を含めた環境意識の向上を図る。

この環境方針は当所外へ公開する。

別紙2



別紙 3

2 環境保全活動の実施状況等

項 目	取組結果	今後の取組計画
エネルギー対策 (地球温暖化対策)	<p>下記取り組みを実施し、10年度目標(エネルギー起源CO2排出量を09年度に比して処理工数原単位で2%の削減)に対し、達成率96%であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A・B棟真空ポンプ運転台数半減</li> <li>・ 省エネパトロールによる電力削減</li> <li>・ 動力費用削減プロジェクト推進</li> </ul>	<p>当社省エネルギー活動の目標である、エネルギー起源CO2排出量(電気・都市ガス)の削減に努める。特に半導体製造工場である当所は、エネルギー使用量が多く、09～11年度で2,200 t-CO2削減を目標としている。11年度は560 t-CO2削減する。</p>
廃棄物対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゼロエミッションの継続</li> <li>・ 廃OA機器の有価物化</li> <li>・ 電子マニフェスト導入拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゼロエミッションの継続</li> <li>・ 廃バッテリーの有価物化</li> <li>・ 廃棄物管理(発生～保管～処理委託)の強化</li> </ul>
環境マネジメントシステム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ISO14001認証取得(1997年)</li> <li>・ ISO14001更新審査認証取得(以後3年毎、最新2010年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境マネジメントシステムの維持向上</li> </ul>
環境教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境保全に関する従業員教育を実施(1回/年講演会形式で実施)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境保全に関する従業員教育の徹底を図る。</li> </ul>
地域社会活動 への参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工場周辺の有志での清掃活動(1回/月)</li> <li>・ 工場周辺の社員での清掃活動(1回/年)</li> <li>・ 桜を育てる会(有志)参加</li> <li>・ 夏祭り開催で地域住民との交流</li> </ul>	<p>左記活動の継続を通じ、生物多様性の保持に努める。</p>